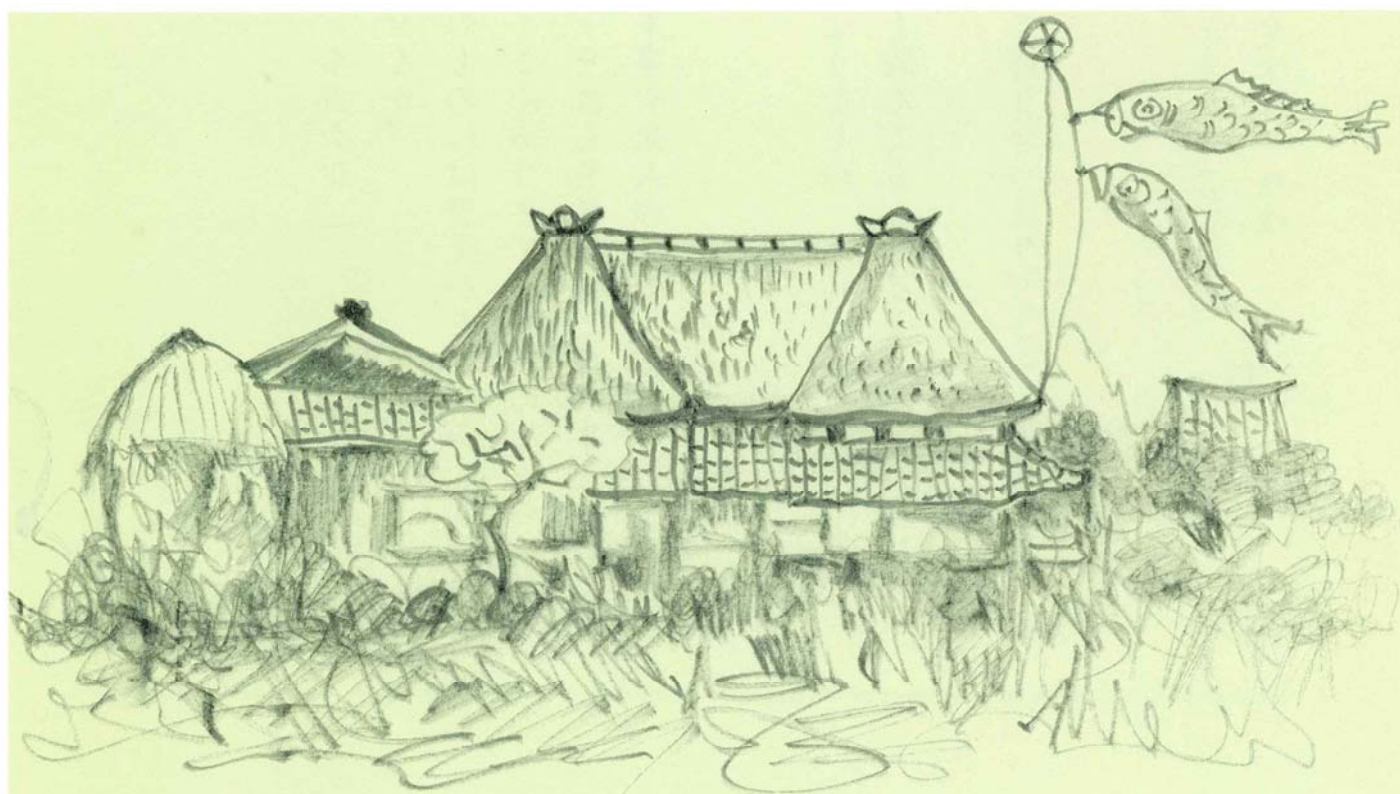


目次

●	この本を読むみなさんへ	2
●	この本を読むにあたって	3
●	目次	4
一	万葉の人々の生き方を訪ねて	6
	―杵島山と歌垣―	6
二	院政を支えた莊園	10
	―宋船が来航した神埼莊―	10
三	真言宗の統一をめざす	14
	―弘法大師の精神を貫いた覚鑿上人―	14
四	今、城山は黙して語らず	18
	―謎の武将・多久太郎宗直と郷土―	18
五	海とともに時代を生きた武士団	22
	―肥前松浦党―	22
六	日本の一大危機「元寇」	26
	―一所懸命に戦った肥前の武士たち―	26
七	宣教師フロイスからシーザーにたとえられた戦国大名	30
	―龍造寺隆信の生涯―	30
八	戦国時代の山城と城下町	34
	―筑紫氏の居城 勝尾城―	34
九	突如として現れた大都市	38
	―全国の大名が集結した名護屋城―	38



●	「佐賀県 ふるさと歴史物語」編集執筆委員等一覧	85
●	おわりに	84
●	むずかしい言葉の説明	80
●	佐賀県内の主な郷土資料館・博物館	78
●	この本に取り上げた時代の年表（世界と日本・郷土の出来事）	76
●	参考にした本	74
●	西洋科学の先駆けの地 武雄	70
●	埋もれていた日本初の青銅製大砲	66
●	心意気を示した唐津藩の人々 — 無言の一揆と曳山雑子 —	62
●	草庵で語られた「葉隠」にこめられた願い	62
●	「白雲や 只今花に 尋ね会い」 — 儒学に夢をかけた多久茂文 —	58
●	西国肥前にも咲いた元禄文化 — 海を渡った有田の磁器 —	54
●	世界のブランド「IMARI」	50
●	水を生かし、水にさからわらない水道開発 — 多久市から江北町への羽佐間水道 —	46
●	塘野茶の栽培の始まり	46
●	日本のお茶のふるさと佐賀 — 佐賀藩とキリスト教 —	42
●	弾圧に負けなかったキリシタン	42

